

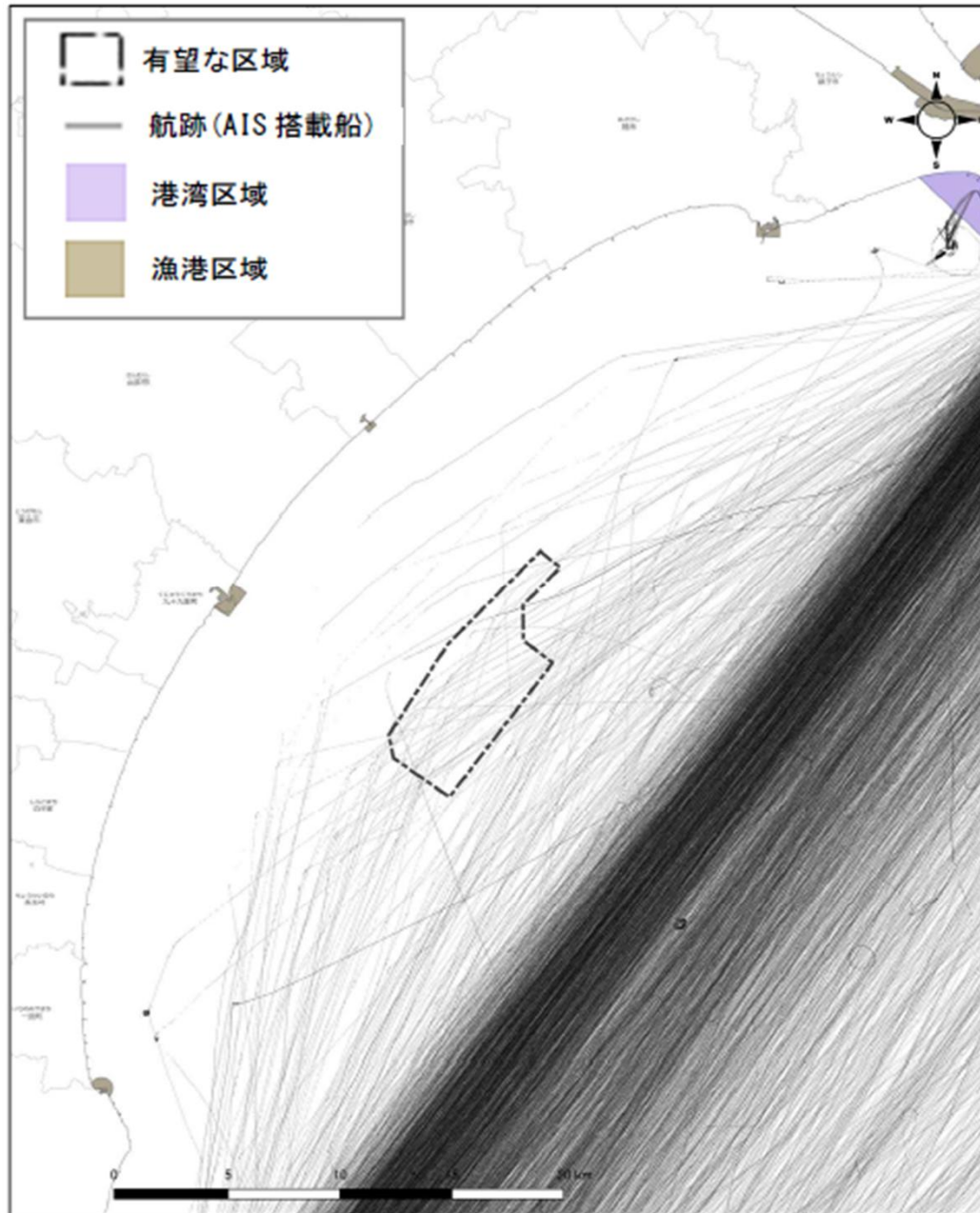
千葉県九十九里沖協議会 船舶航行安全に関する要望事項

令和 7 年12月15日
日本内航海運組合総連合会

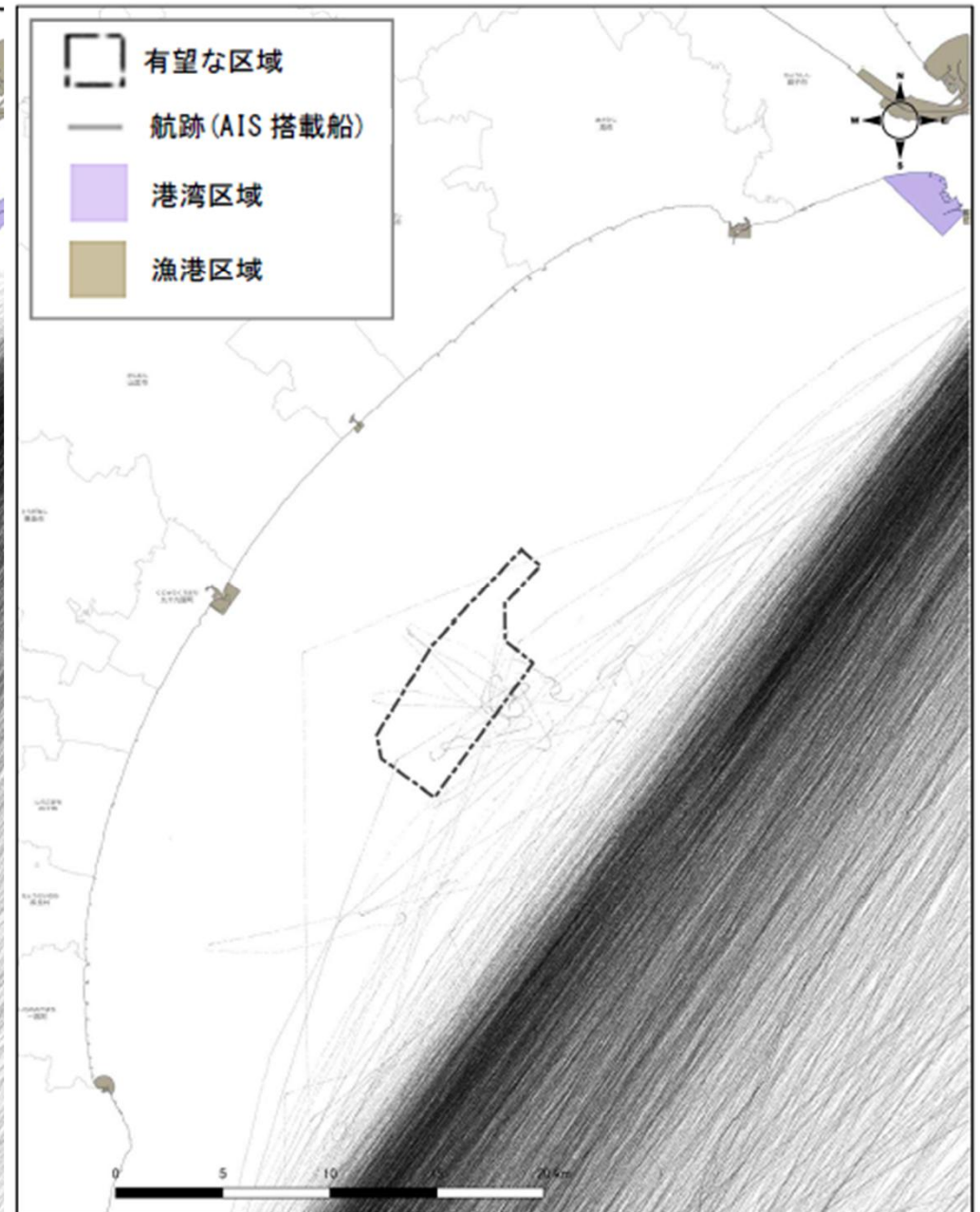


千葉県九十九里沖 有望な区域及び航跡（2017年）

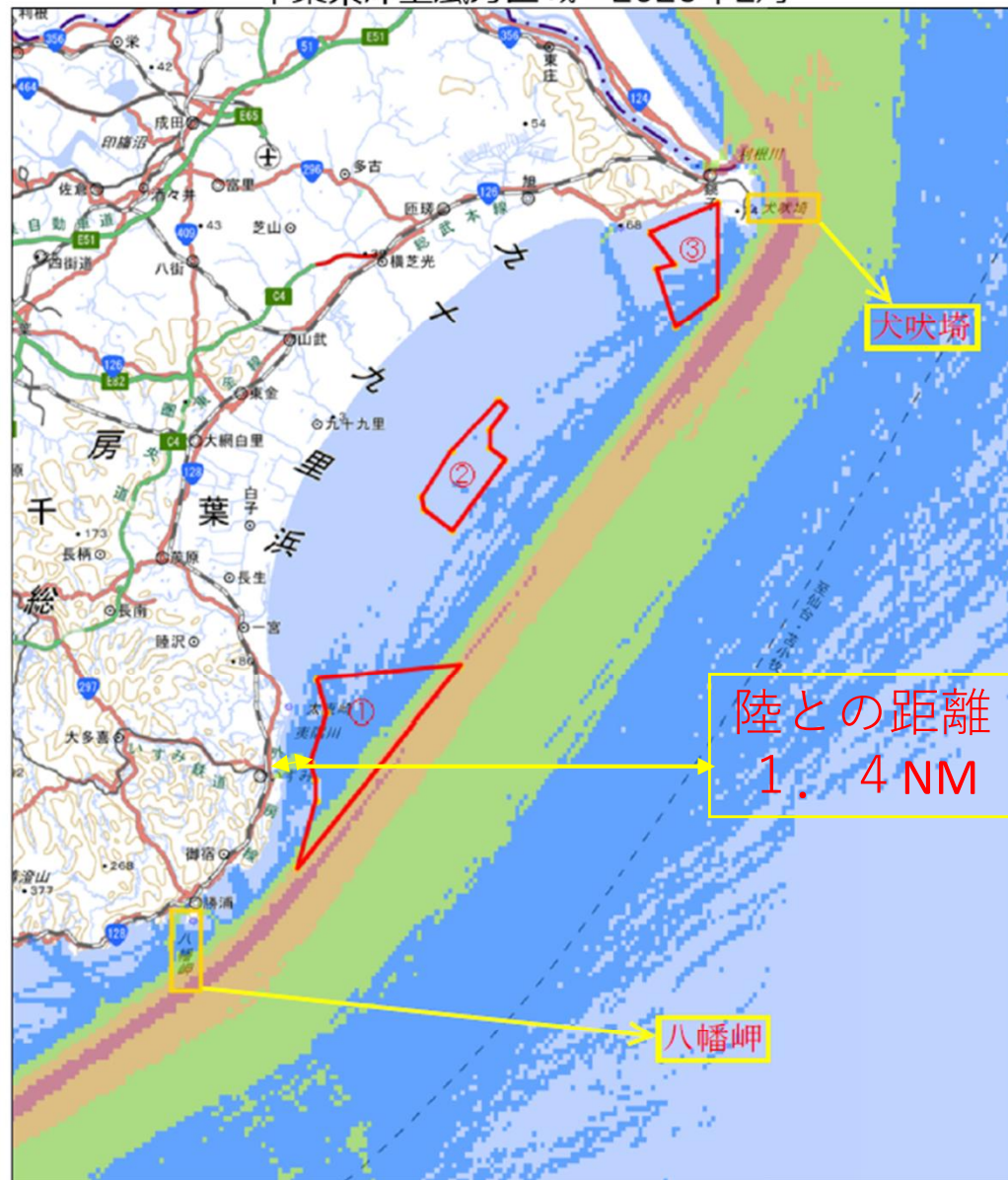
○2月



○6月



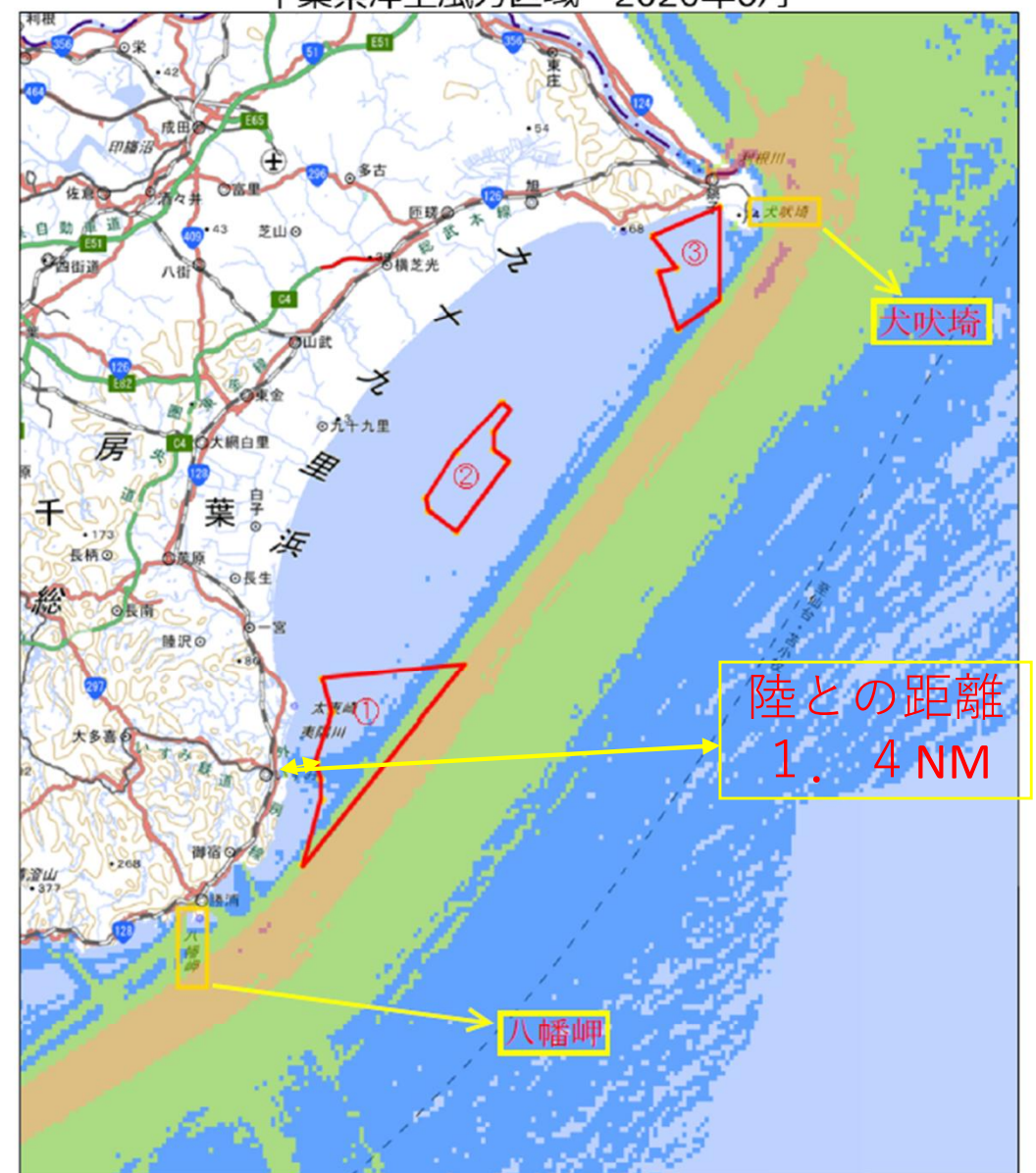
千葉県洋上風力区域 2020年2月



船舶通航量(月別)<2020年2月>



千葉県洋上風力区域 2020年6月



船舶通航量(月別)<2020年6月>



- 本資料に示す船舶通行量は、海上保安庁が提供する、「海しる」より入手したのですが、これはAIS 搭載船舶を対象として作成したものであり、AIS 未搭載船舶の航行実態は反映されていないことを申し添えます。
- 千葉県沖海域における2020年2月と6月のデータを比較すると冬季の強風・風浪を避けるために南北の黄色の航行帯より陸側を航行している船舶が多いことがわかります。他航行データでは、2月における②の九十九里沖海域において月間数十隻の船舶が航行している事を確認しております。（小型船は①いすみ市沖、②九十九里沖、③銚子市沖の3か所の海域を陸側に弧を描くように南北に航行しております）
- AIS 搭載義務を有しない 総トン数499トン以下の小型船舶については、冬季はデータ航跡よりも陸側を航行している可能性が高いものと考えられます。
- 千葉県には本区域のほか 図に示すように2つの制度区域が存在し、今後検討案が浮上する可能性も高く、各区域との十分な調整を行ったうえで、船舶の安全な航行に支障を生じさせないよう洋上風車の設置を検討頂きたく要望させて頂きます。